



倉田小だより 9月号



横浜市立倉田小学校

～つながり いきいき 倉田っ子～



ハーバード大学 20の教訓 ～「デマ」からでた「誠」～

校長 末松 隆一郎

「まだ夏は終わらせない」とばかりに鳴くセミたちの声、夕さるがごとくいつの間にか姿を隠したキリギリス、気が付けば秋の気配も少しずつ漂い始める頃となりました。長い夏休みも終わり、学校に子ども達の元気な声が帰ってきました。どの子もまた一回り成長した姿に、喜びと頼もしさを感じます。

以前、アメリカのハーバード大学にある図書館に、「20の教訓」が書かれていると話題になったことがありました。学内にある90の図書館は24時間開いているそうです。その一つの図書館に書かれていたと言われる「20の教訓」とは、次のようなものです。

1. 今眠るものは夢を見る。今勉強するものは夢を叶える。
2. あなたが無駄にした今日は、どれだけの人が願っても叶わなかった未来である。
3. もう遅いと感じたその瞬間が、物事を始める一番のタイミングである。
4. 今日やるほうが、明日やるより何倍もいい。
5. 勉強の苦しみは一瞬。勉強しなかった苦しみは一生。
6. 勉強するのに足りないのは時間ではない。努力だ。
7. 幸福に順位はないが、成功に順位はある。
8. 学習は人生の全てではないが、人生の一部として続くものである。
9. 苦しみ避けられないのであれば、むしろそれを楽しめ。
10. 成功への道は、人より早起きし、人より努力することである。
11. 怠惰な人が成功することは決してない。真に成功を収める者は徹底した自己管理と忍耐力を備えた人である。
12. 時間は、一瞬で過ぎていく。(光陰矢の如し)
13. 今のよだれ(渴望)は、将来の涙となる。
14. 犬の様に学び、紳士の様に遊べ。
15. 今日歩くのを止めれば、明日からは走るしかない。
16. 一番現実的な人は、自分の未来に投資する。
17. 教育の差が収入の差。
18. 過ぎ去った今日は二度と帰ってこない。
19. 今この瞬間も、相手は読書をして力を身に着けている。
20. 努力無しに結果無し。



最初にこの教訓を目にしたとき、「さすが世界屈指の名門大学」と思ってしまいましたが、よくよく調べてみると、ネット上で流れた「デマ」であることがわかりました。中国のネット掲示板に「ハーバード大学図書館で朝4時に壁に書かれた落書き」という話が登場。この落書きが「20の教訓」に変化し、それに対して複数の英訳パターンが作られ、めぐりめぐって和訳バージョンも登場し、日本でも話題となったそうです。これは、「世界屈指のハーバード大学の学生ならそうに違いない、そうあってほしい。」という期待や羨望、そして、「自分もそうになりたい」という願望や戒めがそれぞれの中にあっただから、ここまで体系化されたものになったのではないかと思います。

たとえ「デマ」であると分かっているとしても、「20の教訓」にある言葉は、それぞれにとって心に残る生き方や考え方を示唆するものが含まれているのではと思います。それぞれに、それぞれの「教訓ナンバー」があるのではないのでしょうか。「デマ」からでた「誠」ではありますが、一人一人が感じた教訓を胸に、夏休み明け、新たなスタートを切っていきたいと思います。